

令和4年度 第9回
栃木東部地域会議 会議録

令和5年2月24日(木)
栃木市大宮公民館 大交流室

栃木東部地域まちづくりセンター

会 議 録

会議の名称	令和4年度第9回栃木東部地域会議
開催日時	令和5年2月24日(金) 19時 開会 20時15分 閉会
開催場所	大宮公民館 大交流室
出席者氏名	別紙1のとおり
欠席者氏名	別紙1のとおり
事務局職員職氏名	別紙1のとおり
その他出席者等	別紙1のとおり
会議事項	別紙2のとおり
会議の公開又は 非公開の別	公開
傍聴人の数	1人
その他必要事項	
会議の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
	<p>1 開会</p> <p style="text-align: center;">——開会——</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 情報提供【危機管理課】</p> <p><説明></p> <p>危機管理課 A委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1に基づき説明。 ・大宮地区の1/4以上が主要地方道宇都宮栃木線の北に位置しており、公的な建物がない。県道を渡らないと避難できる避難所がなく、災害時の避難が困難であると思われる。平川自治会では避難場所を公民館として設定しているが、市の指定避難所ではないため災害支援物資等が届かない恐れがある。自治会公民館も指定避難所に指定してもらえないか。 <p>危機管理課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今まで避難所等の見直しをしていなかったもので、法律と市の選定基準を基に今回見直しを実施した。今後見直しを行わない訳ではないが、今のところ新たに指定する考えはない。 <p>B委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大宮地区からだとは戦場小学校が比較的近いが、避難してはいけないのか？ <p>危機管理課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どこに避難しなくてはならないなどの決まりは一切無いので、どこの避難場所でも避難可能です。この資料を見ても分かるとおり、指定避難所は全て公共の施設である。指定するという事は職員がいるなどが前提となる。民間施設でも協定などにより協力頂いている施設もある。 <p>C委員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私は東日本大震災の際は、県外からの避難者のお目付け役のような事をしてきた。避難所一覧の中で、使用した事がある避難所はいくつあるのか。また、

危機管理課	<p>県外者用の避難所は確保してあるのか？</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年の台風第19号の災害の際は、市内23箇所避難所を開設している。災害が来る前に自主避難所としていくつか開設し、その後、災害の状況に応じて優先避難所として指定している施設を開設した。県外者用としては用意がない。市内の方と一緒に避難所を利用してもらう事になる。
事務局	<p>4 議事</p> <p>栃木市地域づくり推進条例第9条の規定により、柏崎会長による議事進行。</p> <p>〈本日の出席委員数の報告〉</p> <p>本日の出席委員13名（委員総数16名）</p> <p>過半数以上の委員の出席であるため本日の会議は成立</p>
事務局	<p>(1) 地域未来ビジョンの策定について</p> <p>〈説明〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料2-1に基づき栃木市地域未来ビジョンの全体像を説明。 資料2-3で、前回会議で要望のキャッチコピーのアンケート結果を説明。「発展し続け、安心・安全な定住できるまち東部地域」が最多であった。 資料2-2で、栃木東部地域未来ビジョン（案）を説明。ビジョンに地域を代表する写真2枚を掲載することになった。
C委員	<ul style="list-style-type: none"> 写真について、子供の頃、大宮神社でお祭りがあった。神社の東側に舞を舞う神楽殿があるのだが、その写真はないのか。
A委員	<ul style="list-style-type: none"> 大宮神社は大宮城の跡地であつたらしく、大昔に疫病が流行した際に、鎮めるために建てたとされる。昔は11月23日に大勢の方が集まり、獅子舞を披露したり、露店が出たりして賑やかだった。
D委員	<ul style="list-style-type: none"> 東部地域未来ビジョンは「文化の国府地区」と、「発展する大宮地区」という記載なので、それを象徴するような写真が良いのでは。国府地区の下野国庁跡と、大宮地区は発展する様子の写真が適切なのでは。資料にあるように、都市計画道路の開通式の様子でも良いのだが。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 小山栃木都賀線の陸橋から、ヨークベニマル栃木平柳店の交差点周辺を撮影したら良いかとも考え現場を見たが、看板や植栽が重なり良い写真が撮れなかった。良い写真を保有していたら提供頂きたい。
D委員	<ul style="list-style-type: none"> やはり国府地区は文化を象徴とした写真にしたい。資料にあるように下野国庁跡でも良いのだが、観光客は圧倒的に室の八嶋の方が多い。ビジョンには下野国庁跡の再整備なども記載されているので、適切だとは思いますが、悩む。
A委員	<ul style="list-style-type: none"> 下野国庁跡は、日本の国の歴史の始まりを示す貴重な文化財である。栃木市としても観光地の目玉としてPRするべきだと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 国府地区の写真は下野国庁跡、大宮地区は発展を表すような小山栃木都賀線の写真を採用するという事にしたい。キャッチコピーについて再度協議をお願いしたい。
会長	<ul style="list-style-type: none"> 現在2案あるので、挙手制で決定したい。1案または2案どちらが良いか。—1案1人、2案多数の結果—

会長	<p>・2案が圧倒的多数の結果となりましたので、キャッチコピーは、「発展し、安心・安全な定住できるまち東部地域」に決定する。以上で栃木東部未来ビジョンの審議事項が終了した。策定にご協力頂き、ありがとうございました。</p> <p><u>5 その他</u></p> <p><u>6 閉会</u></p> <p style="text-align: center;">——閉会——</p> <p style="text-align: center;">(会議終了時刻 午後8時15分)</p>
----	--

別紙1 出席者及び事務局

<出席者（委員）>

会 長	柏崎 桂二	副会長	出井 康夫
委 員	赤間 シズ子	委 員	大木 泰正
委 員	大橋 哲夫	委 員	古山 美代子
委 員	島田 研	委 員	内藤 實
委 員	中村 康子	委 員	藤本 和夫
委 員	穂坂 孝司	委 員	松崎 文子
委 員	森川 剛		

<欠席者（委員）>

委 員	大武 真一	委 員	長 昌光
委 員	増山 由美		

<事務局>

中嶋 美佐	(栃木東部地域まちづくりセンター所長兼国府公民館長)
宇津野 薫朗	(大宮公民館館長)
田中 賢太	(国府公民館主査)

<その他出席者>危機管理課

課 長	高久 一典	副主幹	関根 和彦
主 査	松永 儒		

別紙2 会議事項及び配付資料一覧

<会議事項>

- 1 開 会

- 2 会長あいさつ

- 3 情報提供【危機管理課】
 - ・ 指定緊急避難場所・指定避難所の見直しについて

- 4 議 事
 - (1) 地域未来ビジョンの策定について

- 5 その他

- 6 閉 会

<配付資料一覧>

- ・ 指定緊急避難場所・指定避難所の見直しについて
- ・ 栃木市地域未来ビジョン（案）
- ・ 栃木東部地域未来ビジョン（案）
- ・ 地域未来ビジョン キャッチコピーアンケート結果
- ・ 地域支えあい講座 キラッと輝く栃木市のお宝発表会

資料1

別紙2-1

別紙2-2

別紙2-3